

秋田県設計VEニュース

Vol. 5 H19.3.28

◆ 農林水産事業を対象とした設計VE報告会が開催されました。

農林水産部の事業を対象とした設計VE提案の報告会が、さる3月14日に「ふきみ会館（秋田市）」で開催されました。

当日は、農林水産部黒子次長をはじめ、関係各課長にも出席をいただき、VEチームから「事業概要」「VE検討の経緯」「VE提案」について報告を行いました。

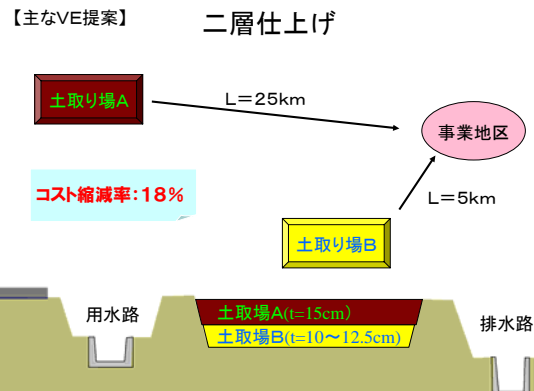
対象事業は、ほ場に客土を行う比較的単純な工事であり、「あまり改善余地が見出せないのでは？」との予想もありましたが、結果的には「コスト縮減率18%」のVE提案と「投資倍率（注）約380倍」という活動成果をあげることができました。

注：投資倍率＝コスト縮減額／VE活動に投入したコスト

VEチーム活動の効率を評価する指標で、本県では20倍以上を目標にしています。

堀江農地整備課長及び佐藤農山村振興課長からは、次のようなコメントとともに、今後のVE推進について激励をいただきました。

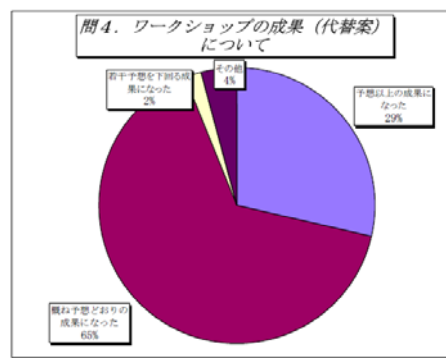
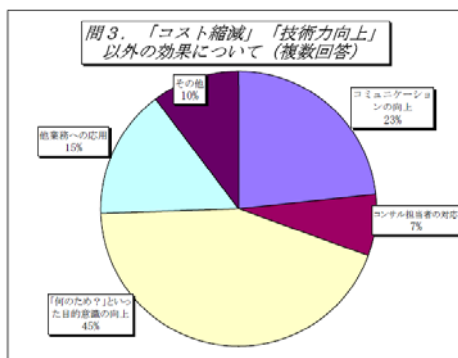
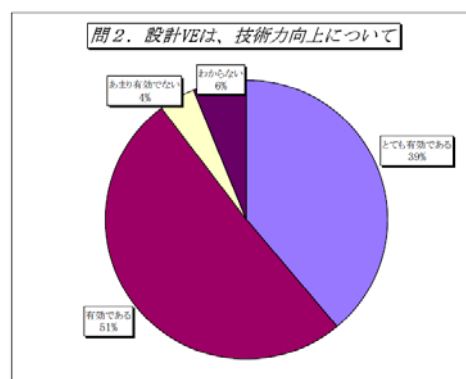
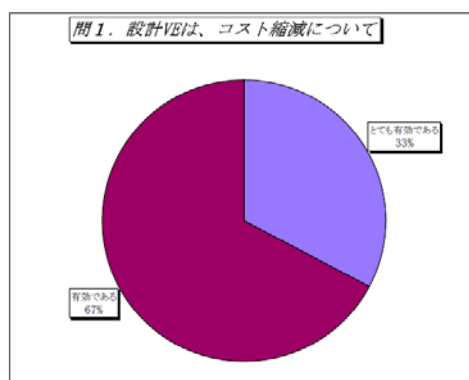
- ・ VEに取り組むことは、本来の技術検討をじっくり行う良い機会。
- ・ これまで業務の効率化を追求し、標準化、マニュアル化を進めてきたが、最近それが逆に足かせになって、弾力的な思考や対応ができなくなってきているのではと感ずる。設計VEの実施を機会に、柔軟な創意工夫に取り組んで欲しい。
- ・ 行政職員には政策提案力が求められている。VEは政策提案力向上にもつながるのではないか。



◆ H18設計VEワークショップ参加者のアンケート結果について

平成18年度は、合計6件の設計VEを実施しました。そのフォローアップの一環として、設計VEワークショップ参加者にアンケートを行いました。概要は以下のとおりですが、「コスト縮減」や「技術力向上」の他に、「意識改革」の面でも効果があることが確認できました。

また、自由意見では、「VEに取り組むことにより多様な効果がある」との意見のほか、現段階での課題を指摘するものもありました。これらの意見を参考に、次年度の取り組みを改善し、スパイラルアップを図っていくことにしております。



なお、詳しくは <http://www.pref.akita.jp/kenkan/kensyuu/ve/h18vewsng.pdf> をご覧下さい。